

ハイヤー・タクシー業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	13～ 14	当該乗務員は、出番日において、会社に帰庫し、営業車の洗車をしたあと、洗車場内にあるトイレに行こうと歩行していたところ、凍結路面に足を滑らせ転倒し、背部を強打して負傷した。	56	719	2	500 ～ 999
2017	1	9～ 10	電車通りを右折しようとして信号のない交差点で、市電の線路をふさぐ様にして停車していたところ、後方より来た市電に追突された。	68	232	17	100 ～ 299
2017	1	1～2	乗務終了後、会社車庫洗車場にて、営業車の洗車及び車内清掃をしている途中、洗車機のスプレーガンをもった状態で、場内床凍結部分に滑って転倒し、右胸部分を強打して負傷した。	66	719	2	30 ～ 49
2017	1	1～2	給油するためスタンドに寄り、給油中に営業車を降りてトイレに行く際に路面が凍っており、足元が滑って転倒し、頭部を強打した。	55	719	2	100 ～ 299
2017	1	11～ 12	無線配車のお客様お迎えの際、凍結路面のため滑って転びそうになり、右手ついたところ右手首を痛めた。	60	719	2	100 ～ 299
2017	1	18～ 19	被災者はタクシーに乗り業務中、当方が直進していたところ、見通しの悪い所から相手方が出て来たのに気付き、ブレーキを踏んでハンドルを右に切ってかわそうとしたが避けきれず、接触した事故である。	47	231	17	100 ～ 299

2017	1	5~6	会社車庫内にて休憩室に戻る途中、路面の凍結により転倒した。	73	719	2	50 ~ 99
2017	1	8~9	出社時、会社の駐車場に到着して、自家用車から降車直後に路面が凍結し足を滑らせ後方に転倒し、頭を打って出血し負傷した。	68	719	2	100 ~ 299
2017	1	5~6	タクシー乗務を終え、車庫に戻り洗車機に営業車を入れ、洗車をす る前に、タイヤホイールを洗い、タイヤホイールを洗った際に使っ たバケツを洗車場（拭き上げ場）に戻しに行くとき足元が滑り、背 中から転倒した。	61	417	2	100 ~ 299
2017	1	22~ 23	当時は路面が凍結しており暗く、足元に充分注意したが、滑ってそ のお客様の玄関先で転倒し、右肩に受傷する。	66	417	2	—
2017	1	9~ 10	タクシーの期限満了ガスボンベを交換する為、本社前タクシー駐車 場からタクシーを回送後、歩いて戻る際、車検工場の敷地内で積雪 の上を歩いていたところ、下が凍結して転倒してしまった。	63	417	2	30 ~ 49
2017	1	21~ 22	中央交差点にて右折する際に、対向車線から来た直進車両と衝突事 故を起こし頭部と両膝を打撲した。	69	231	17	1~ 9
2017	1	8~9	出勤時、会社社屋内の車庫においてバイクで走行中、誤って転倒し 負傷する。	64	231	2	50 ~ 99
2017	1	1~2	車両の洗車が終り、後片づけをし、車内のメモリーカードを取りに 行こうとしたところ、洗車場の地面が凍っていて足が滑り、右足で 踏ん張り身体を支えようとしたが、そのまま倒れこみ、右足くる節 の上に身体がのしかかり、右足橈骨を骨折負傷した。	59	417	2	30 ~ 49
2017	1	17~ 18	訪問先で、雨戸を締めようと、雨戸を引っ張ったが、雨戸が堅く、 動きが悪かったので、更に力を入れて引っ張ったら、勢いよく出て きて右手にぶつけてしまった。そのあと痛み強くなり、指が腫れて	55	911	7	30 ~ 49

			動かなくなってしまう、骨折していることが判明した。				
2017	1	19～ 20	渋滞のため停車していたところ後方より普通車に追突される。	62	231	17	300 ～ 499
2017	1	18～ 19	タクシー運転業務中、歩行者の横断待ちのため停止したところ、後方のタクシーが止まりきれず、当方に追突したため負傷した。	48	231	17	500 ～ 999
2017	1	18～ 19	帰庫後、車庫から事務所へ向かう途中、車庫の出入口で右から走って来た自転車と接触した。	64	239	3	50 ～ 99
2017	1	17～ 18	路上において、バス後方にて信号停車中に乗車を申し込まれて、トランクに荷物を入れようと降車した際、ギアをDレンジのままサイドブレーキもかけずに降車してしまい車が動き出してしまった。急いで止めようと運転席に乗り込みブレーキをかけようとしたところ、アクセルとブレーキを踏み間違えてしまい加速して前方に停車中のバスに追突し受傷した。	43	231	17	300 ～ 499
2017	1	15～ 16	歯科治療院へ利用者（障害者）を院内まで搬送する業務中に、降車する際の位置がいつもの位置より狭い位置での活動をしなければならなかった状況であった為、若干高い位置から降りた時に体のバランスを崩し、横転した。体を支える時に右手を地面に強打し、手首を骨折した。	70	418	2	300 ～ 499
2017	1	9～ 10	朝、出庫車両にガスを充填中につまずいて（自車）接触し、右足の下肢に痛みが走り歩行困難になり、救急搬送された。	42	231	2	100 ～ 299
2017	1	2～3	空車にて進行中、脇道より相手の車が一時停止もせず飛び出して来て、当方の車両に衝突し、逃走した。当初は体にあまり痛みを感じなかったのだが、その後、痛みで眠ることができなくなった。	69	231	17	100 ～ 299

2017	1	20～ 21	渋滞にて低速走行中、後方より追突された。	41	231	17	100 ～ 299
2017	1	14～ 15	交差点手前にて、信号待ちしている時に、後方より車両が当方車両に追突し、当方車両が前方車両に追突し、当方車両運転手が負傷した。	61	231	17	100 ～ 299
2017	1	12～ 13	タクシー営業中、信号待ちのあと発進し、先行車との車間距離が狭くなったので減速をしたところ、後方より追突され負傷した。	52	231	17	100 ～ 299
2017	1	20～ 21	前の信号が赤信号のため停車、青信号に変わったので発進、3mほど進んだ所で後続車に追突され負傷した。	61	231	17	50 ～ 99
2017	1	11～ 12	車イスのお客様を自宅までお送りし、車から車イスを降ろし玄関の中に入り、部屋までお連れするために上がりかまちの所で車イスを両手で持ち上げた際に左膝をひねり負傷した。	66	362	19	50 ～ 99
2017	1	16～ 17	タクシー乗り場より男性1名を乗せ走行中、前車が突然Uターンをし回避を試みたが、避けきれずに接触した。	68	231	17	100 ～ 299
2017	1	11～ 12	被災者は乗車走行中、横断歩道上に歩行者を発見した為停車したところ、後方より直進して来た相手方車両に追突され負傷した。	63	231	17	50 ～ 99
2017	1	7～8	構内の横断歩道上にて、トイレから営業車両に戻る途中にて、自転車と衝突して負傷した。	55	362	17	50 ～ 99
2017	1	4～5	駐車場内の洗車場にて出庫準備中に点検のために車外に出て客席側に行こうとしたところ、凍結した路面で足を滑らせ転倒し、右肘をついたため骨折した。	67	417	2	100 ～ 299



2017	1	2~3	お客様3名を乗車中、左路肩停車中の車両がいきなりUターンし追突した。	58	231	17	~	100	299
2017	1	18~19	お客様を降ろした後、交差点を右折するため後方を確認し本線左側車線より順次車線変更していき本線右端の車線に入る際、後方からくる車両を通過させた後、右車線に入り前車に続いて走行していた所、右側側道より出ようとする車両がいたが停止しているのを確認したため、そのまま通過しようとした所、当方右後部にいた相手車両が当たってきた。	51	231	17	~	100	299
2017	1	6~7	一般道の交差点において、お供完了後、北から南に走行中、当方青信号で交差点内において、西より走行してきた先方車（交通違反）が、当方右側後方に追突、そのまま中央分離帯へ衝突したあと横転した。	52	231	17	~	100	299
2017	1	17~18	病院北側を走行中、前車が停止したので、続いて停止したところ、後方より追突された。	60	231	17	~	100	299
2017	1	7~8	営業所西側の敷地内に自家用車を止め、出勤時のタイムカードを押す為に点呼場へ行き押した後、自家用車へ戻り乗り込もうとした際、地面に氷がはっており、その上で滑って転倒し、左足首を骨折した。	72	417	2	~	100	299
2017	1	21~22	駐車場にて、代行のお客様の車両を駐車場より出すためにバック誘導をしていた際、後方の街灯にぶつかりそうになったので、慌てて左手を出し体をつけて運転者に声をかけたが聞こえず、ブレーキが遅かったので街灯のポールに手が挟まった。	59	231	17	~	30	49
2017	1	8~9	車両を停車させコンビニに買い物に行くため下車し歩行中、歩道との段差につまずき転倒し、左膝蓋骨を骨折した。	66	418	2	~	50	99
			体育館前交差点内において、タクシー業務終了後にタクシー駐車場						

2017	1	17~ 18	に戻り自家用車に乗り換えて、売り上げを納金する為に本社に移動していた時に、コンビニに立ち寄って日報のコピーを取り、交差点内でUターンしようとした時に直進の車と接触し、頸椎等を負傷した。	68	231	17	~ 49	30
2017	1	3~4	路上に於いて、左方向から進行して来る関係車を認め、急制動をかけるも間に合わず、当該車に接触し、双方が損傷を負った。	61	231	17	~ 299	100
2017	1	14~ 15	当該車が、右折時に安全確認をするため交差点の中央付近で停車した際、後方より進行して来た関係車両に追突を受け、双方が損傷を負った。	56	231	17	~ 299	100
2017	2	3~4	会社への帰庫前にガス燃料を充填しようとして現場ガススタンド構内の所定の位置へ駐車し、降車後、所用を済ませた後再度乗車する為、運転席ドアを開けようとした際、足を滑らせて転倒し後頭部を地面に打ちつけて負傷したものである。	33	719	2	~ 99	50
2017	2	19~20	入口前で、ジャンボハイヤーの乗客乗降口付近で待機していたところ、お客様が乗車しようとして車両前に来た所で、足を滑らせ転倒しそうになったので助けようと腕を伸ばし身体を抱える状態で無理な姿勢となり背中や腕をひねり負傷した。肩や腰に痛みを感じながらも勤務していたが痛みが治まらず、後日病院へ行った。	50	921	19	1~ 9	
2017	2	19~20	当該乗務員は、流し営業中に無線配車を受け、目的地に到着し、道路にタクシーを止め、裏の方に迎えに通路を歩いていたところ、左側の太い木の陰から白い犬が急に向かって来て、左足のすねの辺りを?まれたものである。	64	921	7	~ 499	300
2017	2	14~15	駅西口の公衆トイレの前にカードケースが落ちていたので、交番に届けるために乗務中のタクシーに乗り、駐車し、車外に出て道路から歩道へ上がる際に、縁石に躓き転倒し、両手をついて負傷した。	65	711	2	~ 299	100
			客を乗せタクシー運転業務に従事中、料金精算作業の際、乗客であ					50







2017	2	17~18	被災者は実車走行中、前車に引き続き停止したところ、2台後ろの車両が後方の車両に追突した為、その反動で当方車両に追突し、負傷したものである。	52	231	17	~ 99
2017	2	2~3	タクシーで旅客をお送りした。トイレに寄ろうと車から降り、駐車場内を歩行中に車止めに足が躓いて転倒し、地面に前頭部をぶつけた。	63	419	2	~ 299
2017	2	22~23	お客様をご案内する為、お房のガラス玄関ドア（観音開式）を両手で引き開けて、右側から体全体は中に入ったが、左手は左のドアを掴んだままでいたために突然、右側ドアが閉まり始めて、観音開きが閉じて残っていた左手の薬指をドアで挟んで損傷した。	67	419	7	~ 29
2017	2	3~4	交差点にて南向きで信号待ちで停車中に追突される。	55	231	17	—
2017	2	0~1	タクシー乗務中に交差点を信号青で直進していたところ、対向車線の相手車両が直近で右折してきたため衝突する。	58	231	17	—
2017	2	15~16	交差点で赤信号のため停止しようとしていたところ、後方から来た相手車両に追突されたものである。	46	231	17	~ 99
2017	2	3~4	駐車場で強盗に遭い、首を絞められ負傷した。	67	921	90	~ 29
2017	2	7~8	乗り場にて、待機中お客様の荷物を別のタクシーに乗せるのを手伝っている途中、自分の番になったので慌てて、戻る時に躓いて顔を強打した。	71	417	2	~ 99
2017	2	3~4	当該乗務員とお客様との間にトラブルがあった。そのため当該乗務員と共にお客様のアパートに謝罪に行った。その際、当該乗務員がお客様から腕を引っ張られた。	51	911	19	~ 49
2017	3	11~12	男性客が降車する際、お客様が使用している電動車イスを車のトランクから降ろすときに腰に痛みを感じた。すぐに痛みは回復すると	58	611	19	~

			思っていたが、徐々に痛みが増してきた。				299
2017	3	20~21	空車で走行中、お客様が合図してきたので停車しようと思ったが、左側工事のため、後方からすぐ車が来ていたので先に行ってもらうため、合図しようと思ったときに衝突された。	71	231	17	50 ~ 99
2017	3	1~2	会社の敷地内の駐車場でタクシーの乗務を終えて社屋に入ろうと歩いていたとき、凍った路面に足を滑らせ転倒し、頭部と腰を打った。	68	719	2	100 ~ 299
2017	3	10~11	要介護のお客様を迎えに行き、車椅子へ乗せるとき、乗客の体を持ち上げようとしたときに腰に痛みを感じた。	51	921	19	50 ~ 99
2017	3	9~10	交差点で赤信号で待っているときに、急に具合が悪くなり意識がなくなり、アクセルを踏んだまま車が走り出し、青信号で右側から進んできた車に衝突し、その反動でアパートの間に衝突し停止した。停止したときに意識がなく、救急搬送された。	64	231	17	10 ~ 29
2017	3	2~3	勤務が終わって事業場内車庫に帰庫し、納金等の報告が終わった後、帰宅するために私用荷物を営業車から自家用車に移そうと両手に持って歩いていく途中、車庫内床面のデコボコに足を取られて転倒した。その際、顔面から落ちるのを避けようと身体を斜めにしたため、右側面から落ちた。	65	417	2	50 ~ 99
2017	3	17~18	前方渋滞で最後尾に停車中、後続の車に追突され負傷した。	71	231	17	50 ~ 99
2017	3	14~15	当方走行中、合流地点で停車したところ相手方車両に追突された。	52	231	17	300 ~ 499
2017	3	12~13	交差点で両車共に一時停止の規制がなく、お互い減速することもなく進入し衝突した。	53	231	17	100 ~

									299
2017	3	5~6	営業中、男性客1名が降車の際、料金授受のためカード機で決済中に突然、因縁をつけ小銭を投げる等の暴行をはたらきながら車外に出て、同車両のドアを足蹴りをして損害を与えたため、それをとめようと車から外に出たところ、いきなり路上に倒され、顔面を7回位殴られた。	65	921	90	~	100	299
2017	3	5~6	出社後、ロッカールームでレインウェアのズボンを脱ごうとした際に足首をひねった。	61	921	19	~	100	299
2017	3	11~12	空車営業中、一方通行路にて、右前方にトラックが停車していたため、安全確認のため一時停止したところ、後方よりきた相手側に追突され受傷した。	51	231	17	~	100	299
2017	3	20~21	赤信号に従い停車していたところ、後方より来た相手方乗用車に追突され負傷した。	59	231	17	~	100	299
2017	3	16~17	当該者は空車回送中、T字路を直進した処左方より右折してきた相手方車両と衝突し負傷した。	57	231	17	~	50	99
2017	3	16~17	営業所敷地内駐車場にて乗務終了後、タクシーから自分の私物を自家用車に乗せ換えする為、荷物を両手に持って駐車している自家用車に向かっているとき、駐車場の端にある約10cm幅位の側溝に足を踏み外して転倒した。その時に道路と駐車場との境に設置してある鉄柱の防御柵で右肩部を打撲、骨折した。	58	418	2	~	100	299
2017	3	1~2	信号機のない交差点にて当方は北から南へ走行中、一時停止を怠った東から西へ走行してきた相手方と接触した。	55	231	17	~	100	299
			走行中、先行事故（酒気帯び事故）により停車していた車両が、避						

2017	3	21~22	難措置を取らず、また停止表示器材の設置をすることもなく無灯火の状態 の状態で走行車線上を斜めに停車していたため、回避措置が遅れ、 相手方車両の左前部に衝突し、その反動で中央分離帯の側壁に衝突 した。	71	221	17	~ 299	100
2017	3	14~15	信号待ちで停車中、後方よりトラックに追突され負傷した。	53	231	17	~ 299	100
2017	3	17~18	お客様をお送りし、精算時に助手席のお客様が後部右に乗車してい る幼児を降車させるため左後部ドアを開けた際、運転席左側にある ドアと連動しているレバーが手前に倒れ、左足がそのレバーと座席 に挟まり、無理に引き抜いたところ膝を捻り負傷した。	59	921	19	~ 299	100
2017	3	21~22	被災労働者がロータリー（タクシー待機場所）で客待ちをしていた 際、用を足すため駅のトイレに向かっていた時、バス停の歩道の段 差に左足を捕られ、左足アキレス腱断裂の負傷をした。	56	418	3	1~ 9	
2017	3	20~21	東向き走行中、交差点で赤信号の為、停車中の車列に続いて減速 し、停車する直前に3台後ろを走っていた乗用車が前走車に追突し、 玉突き状態で当方の車両に追突してきた。	58	231	17	~ 299	100
2017	3	13~14	タクシー乗務中、駅北口に待機している時にトイレに行きたくな り、歩道にあるチェーンを跨いでトイレに向かおうとした際、足を チェーンに引っ掛けて転倒し負傷した。	48	419	2	~ 99	50
2017	3	0~1	北向きに走行し、右手にある目的地に入ろうと右折したところ、直 進してきた反対走行の相手車両と衝突した。衝突の際、自分が運転 していた車のハンドルに胸を強打した。	69	231	17	~ 99	50
2017	3	1~2	道路でタクシーをUターンさせようとしたところ、左前輪を脱輪し てしまい、慌てて状態を見に行き、誤って左足を滑らせて溝に落 ち、その勢いで左足に負荷がかかり、左足の膝上辺りを骨折した。	55	419	1	~ 49	30
			路上に於いてタクシーに乗務運転中、脇見をしたため中央分離帯に					100





2017	4	4～5	南口のタクシー待機場所内で車両を停車させ待機する。その後、軽い運動をしようと車両から降り、車道との境目に設置されている、等間隔高さ50cmで間にチェーン・ロープ（金属製）が張られている物を跨ごうとした際、左足付け根がチェーン・ロープに引っ掛かり、左肘から地面に倒れた。	63	391	2	300 ～ 499
2017	4	7～8	赤信号のため減速したところ、相手方車両に追突された。	60	231	17	100 ～ 299
2017	4	2～3	お客様自宅マンション前の路上で、ハザードランプを点灯し停止中に、車内にて会計業務をしていたとき、前方不注意の車速約40kmの車両に右後部を追突された。	55	231	17	500 ～ 999
2017	4	7～8	敷地内駐車場を歩行中、段差で左足を捻り、左足中足骨を骨折した。	60	418	19	100 ～ 299
2017	4	8～9	就業場所に到着して着替えのため靴をぬぎスリッパに履き替えようとし、下駄箱から取り出そうと屈んで手を伸ばした時に腰に強い痛みが出た。	50	921	19	30 ～ 49
2017	4	12～13	運行管理者に出庫点呼を受け、乗務日報等が入った袋を両手に持ち、車庫に出る時に車務所入口のアプローチを踏み外し、右肩より前方の車庫に倒れ負傷した。	47	418	2	100 ～ 299
2017	4	3～4	お客様を送迎中の交差点にて、矢印の信号を見誤り直進してしまった際に、進行して来た相手車両に衝突した。	63	231	17	100 ～ 299
2017	4	13～14	赤信号のため停止していたところ、後方より相手車両に追突された。	58	231	17	50 ～ 99
			路上を走行していたところ、目的地が反対本線側であったため目的				



2017	4	10～ 11	地を過ぎたところで方向転換し、第1通行帯から目的地駐車場に入ろうとして左折ウインカーを点滅させ減速したところ、後方の第2通行帯を走行中のトラックを第1通行帯から追い抜こうと急加速してきた相手車両がトラックを追い抜くと同時に第2通行帯に車線変更を試みた際、相手車両の左フロント部に当方の右リヤ部が衝突し、相手車両は停止することなく逃げ去った。当方運転士は首に違和感を訴え、頸椎捻挫が認められた。	65	231	17	～ 299	100
2017	4	8～9	信号待ちをしていた時、後続車に追突され負傷した。	54	231	17	～ 99	50
2017	4	2～3	信号待ちのため、前車に続き停車していたところ、後方より走行してきた相手車両に追突された。	40	231	17	～ 299	100
2017	4	12～ 13	乗務中駅到着時に、知的障害者を連れた介護人が運賃を支払っている時に、後方にいた知的障害者が無言で顔面を殴打した。	54	921	90	～ 299	100
2017	4	22～ 23	乗務中にお客様の荷物をトランクに入れる時に、お客様が自分がトランクを閉めようとした際に先にトランクを強く閉めた為右手親指が挟まってしまった。	54	231	7	～ 299	100
2017	4	8～9	整形外科にお客様を送り降車させる際右側に停車していた車がバック（後退）してきたため当方の右後方ドア付近に後突した事故である。	66	231	6	～ 299	100
2017	4	12～ 13	タクシー空車時の際、待機所から戻る途中、信号交差点にて赤で停車中後方から来た車に追突された。	63	231	17	～ 99	50
2017	4	10～ 11	空車で道路を北進中、横断歩道上に自転車が通過したため手前で停止していたところ、後続車である相手車両に追突された。	52	231	17	～ 299	100

2017	4	3~4	道路を西行中、信号の手前で右側車線走行中の相手車が急に車線変更し、自車の進路を妨害し衝突した。	71	231	17	~ 299	100
2017	4	3~4	交差点東にて信号待ち停車中、後方より追突された。	44	231	17	~ 299	100
2017	4	19~ 20	駅付近路上でお客様待ちで停車していたところ、前方から歩いて来た相手が訳のわからないことを言いながら被災者のタクシーに向かって何か物を投げつけ、運転席にいた被災者に近寄り、いきなり胸ぐらを掴み顔面を殴った。	66	719	4	~ 299	100
2017	4	18~ 19	お客様ご乗車後、交差点で青色発進したところ、信号無視した車両が当車後部に衝突した。	55	231	17	~ 99	50
2017	4	8~9	お客を乗車し、目的地の7Fまで行ったとき、タクシー運賃を持ってなかったので部屋まで集金に行った際に暴行を受けた。	61	911	99	~ 49	30
2017	4	0~1	路上にて当方が黄色点滅を走行中、相手車両が赤色点滅を一時停止せずに当方車両の右後部にぶつかってきて、頸部と腰部を捻挫した。	61	231	17	~ 99	50
2017	4	7~8	本社営業所において、入社時に自分のタクシーを洗車しようと、洗車場から降りる際に足を滑らせひねり、左足甲を骨折した。（傾斜を油断してひねった。）	61	417	19	~ 29	10
2017	4	17~ 18	クリニック前で（登り坂の場所）乗客が高齢者2名で、1人が車椅子の方で乗車時に手伝いを要する為、奥様に開いたドアを持っていて下さいと伝えて乗車の手伝いをしている時にドアを放されてしまい、坂道で勢いが付いて強く腰に当たり打撲した。	70	231	6	~ 99	50
		18~	一時停止の無い丁字路交差点を通過しようとした直後、右側から右					100

2017	5	19	折して来た一般車の左フロントバンパーと当方の右リアバンパーが接触した。	70	231	17	～ 299
2017	5	6～7	乗務中、走行中車両を方向転換しようとした時、後方より走行してきた車両に追突された。	72	231	17	～ 50 99
2017	5	1～2	仕事終了時、車庫前で車の洗車中、道路の凹凸に足を取られ右足首をひねり、甲を骨折した。	64	418	19	～ 10 29
2017	5	18～ 19	第一車線に入ろうとした相手車と接触した。	50	231	17	～ 50 99
2017	5	22～ 23	お客様をタクシーに乗せ自宅前で下した時、お客様が転んだため車から降りて介助しようとしたが、一緒に転んで腰と頭部を打った。	73	911	2	～ 30 49
2017	5	8～9	当社2階事務所において電話番をしていた際、下階の社長宛に電話があった為呼びに行こうとして急いでいたので靴を履いた時靴の踵を踏んだままの状態です階段を下りた為足を滑らせてしまい尻から落ちた（2～3m滑り落ちた）。	59	413	1	～ 10 29
2017	5	8～9	駅にて待機中、車両から離れていたところ、客が乗り込みに来たので慌てて戻ろうと急に走ったところ、左足ふくらはぎに激痛を感じ、左腓腹筋損傷となった。	50	921	19	～ 100 299
2017	5	23～ 24	タクシー営業中、信号待ちで停車中、後方より来た相手車両に追突され負傷した。	56	231	17	～ 500 999
2017	5	10～ 11	業務中お客様荷物をトラックに入れる際、腰部に痛みがあり負傷した。	55	611	19	～ 100 299



2017	5	0～1	車庫内の整理をしようとしたところ、駐車場内のチェッカープレート（50cm×50cm×高さ5cm、排水槽の上）に足を引っ掛けてしまい転倒した。	76	419	2	—
2017	5	12～13	前がつまり停止していたところ後方車輛に追突され、頸椎捻挫の負傷をした。	58	231	17	100～299
2017	5	17～18	配車地に向けタクシー車両を回送中、右カーブに差し掛かったところ、対向してきた軽自動車は極端に中央寄りを走行して来たため、危険を感じクラクションを鳴らした。対向車の運転者は気付かずに当方に向かって来たため、急ブレーキを掛け、道路左側に寄って停止したが、回避できず、衝突した。翌朝に頸部に痛みを感じ、頸椎捻挫となった。	58	231	17	100～299
2017	5	15～16	路線バスのバス停付近で乗客降車のドアサービスをしようとしたタクシー車両から降りようとした際に、足元に置いてあったカバンの持ち手に足が引っ掛かりバランスを崩して地面に転びこんでしまった。実務研修のため増便で出ていたタクシーの助手席に乗車していた。地面は凸凹状のアスファルトであった。	54	231	2	100～299
2017	5	9～10	被災者が駅北口タクシー乗り場に一番手で待機していたところ、加害者の運転するタクシーが二番手につけようと、被災者タクシーの後ろにつこうとした際、自転車请加害者タクシーの前を横切ろうとしたためブレーキを踏んだが間違えてアクセルを踏んでしまい、被災者タクシーに追突し、その衝撃で怪我をした。	69	231	17	30～49
2017	5	21～22	お客様を乗せ走行中、交差点に差し掛かり、相手の、止まれ標識を無視してきた車両と接触した事故である。	28	231	17	100～299
2017	5	1～2	タクシーで病院の前お客様をお乗せしお送りする途中、交差点で信号が赤のため停止していたところ、後続車に自社の後部中央部分に追突され、腰を打った。	34	231	17	100～299

2017	5	19～ 20	交差点にて信号待ちで停車中に、後方よりワンボックス型バンに追突された。	61	231	17	50 ～ 99
2017	5	23～ 24	被災者は、タクシー乗務中、公園のトイレに行こうとして車道から公園の敷地に入る際、段差に躓いて転倒し負傷した。	72	419	2	300 ～ 499
2017	5	11～ 12	渋滞のため停車中に、事故を起こしたトラックが時速60kmノープレーキで自車の後続車に追突し、その勢いで後続車が自車に追突し、玉突き事故となった。	24	221	17	100 ～ 299
2017	5	7～8	トランクサービス中にスーツケースが収まりきれずゴムロープを引っ張り、トランクを固定しようとしたところ、眉と髪の生え際の間額の間にフックが当たり負傷する。	68	379	6	300 ～ 499
2017	5	0～1	交差点において、左側から一旦停止を無視した車両と出合頭に接触し負傷した。	58	231	17	100 ～ 299
2017	5	21～ 22	お客様降車のため停止したところ、後続車に追突された。	67	231	17	100 ～ 299
2017	5	20～ 21	交差点を右折した時、前方を横切った何かが見えたため停車したところへ相手車両が追突する。	44	231	17	50 ～ 99
2017	5	10～ 11	交差点にて、徐行しながら直進していたところ、右側からの車が一旦停止をせずに直進してきたため衝突した。	29	231	17	10 ～ 29
2017	5	5～6	タクシーの乗客を降ろし、後方に移動してトランクに積んでいた荷物を取り出そうとドアを開け出ようとしたところ、車内に垂れ下がっていたシートベルトに右足を引っ掛け前のめりに倒れ、地面に	72	231	2	50 ～ 99

			左膝を打ちつけ左膝皿を骨折した。				
2017	5	9～ 10	お客様をお迎えに上がり、ワンボックス車のトランクに乗客の荷物を積み込んだ後、後ろに下がろうとした時に、半開きになっていたリアゲートに頭部を強打し、転倒する。	47	231	3	300 ～ 499
2017	5	23～ 24	タクシー業務中、幹線道路の交差点での事故である。原因は漫然運転で、赤信号を見落とし交差点に進入したためである。相手車両と接触した後、道路脇の樹木に衝突した。	57	231	17	1～ 9
2017	5	18～ 19	待機場にて車内で片付けをしていたところ、タオルを落とし拾おうとして左肩を捻る。大雨が降っていたので車内で左手を突っ張った状態で右手で取ろうとして左肩を捻った。タオルを取った瞬間に左肩付近でバキッと音がし、痛みでしばらく動けなくなった。	58	231	19	10 ～ 29
2017	5	8～9	災害発生場所を南進中、横断歩道に歩行者を発見したため手前で停車したところ、後続の車両に追突された。	51	231	17	50 ～ 99
2017	5	17～ 18	駅から乗車した客のスーツケース2つ（重量1つ15kgはあったと思われる）を両手で抱えトランクへ載せたところ、思いのほか重さがあり、両肩に痛みを感じたが、そのまま客を自宅へ送り届け、降車時にトランクに載せたスーツケースを降ろす際にピキッと両肩に激痛が生じた。	63	611	19	30 ～ 49
2017	6	21～ 22	交差点左折時に、横断歩道を歩行者が通過待ちで停車したところに、追従して来た相手車両に追突された事故である。	69	231	17	100 ～ 299
2017	6	21～ 22	棚卸し先現場で、棚卸し終了後にトラックのアオリを持ち上げた際に、腰に激痛がはしった。	73	231	17	50 ～ 99
			深夜、タクシーを営業中、空車にて向かう途中で赤信号のため前車が停車をし、それに合わせて当車も停車をしたところ、後続車がい				30

2017	6	1~2	きなり追突してきた。前車の運転者と自身と後続の運転者が一旦車を降り、信号が青に変わったので発進して左側に車両を寄せて、警察を呼ぼうと車両を進めたが、後続車両が別方向へと逃走した。残った2車両で現場検証をし、ひき逃げ事件となる。	60	231	17	~	49
2017	6	4~5	信号待ちにて停車中、後方から走行して来た相手方車両に追突され、負傷したものである。	53	231	17	~	299
2017	6	14~15	整備工場にて、営業車両の左後輪ドラムブレーキを分解整備後、組み立てる際に、ブレーキカバーと内部鉄板に指を挟まれて受傷してしまった。	63	231	7	~	299
2017	6	12~13	トラックの積み荷搬入作業中、荷台に乗り荷物を手前まで持っていたところ、足場があると見誤って、荷物を持ったまま受け身がとれず、1m位のトラックの荷台から落下した。	39	414	1	~	29
2017	6	7~8	タクシー乗務中、一時停止不履行の相手車が前方に飛び出したため衝突し、負傷した。	52	231	17	~	299
2017	6	11~12	交差点で信号待ち後、青信号に変わったので、同交差点内を進行し、信号残り車である相手車両の後方を通過しようとしたところ、突然、相手車両がバックしてきたため避けきれず、当車の右側面が損傷し、当車運転手も骨折するなど負傷した。	70	231	17	~	299
2017	6	14~15	道路を直進にて走行中、前方の路地から一時停止せずに左折して出てきた相手車両と衝突し、当車運転手は頸椎を負傷した。	54	231	17	~	299
2017	6	21~22	列移動停車後、相手タクシーの不注意で追突事故となる。	47	231	17	~	299
2017	6	8~9	タクシー営業中、乗客が降車し、トランクにある乗客の荷物を降ろ	50	611	19	—	



			す際に負傷したものである。				
2017	6	9～ 10	出庫点検の後、立体駐車場に停めてある自家用車に荷物を取りに行き、スロープよりタクシー車両へ移動した際、濡れたスロープで足を滑らせ、右足で転倒を食い止めた為、過度の力が加わり、右足首のくるぶしを骨折したものである。	59	418	19	100 ～ 299
2017	6	14～ 15	運転士は、バスセンター発、ターミナル行を運行していた。その後、休憩のため車庫へ回送途中、バス停交差点にて、赤信号に従い前車に続いて停車したと同時に、居眠りをしていた後続の一般車に追突されたものである。	45	231	17	300 ～ 499
2017	6	16～ 17	出勤で事務所に入る為、車を降りて車庫の中を歩いていた際、車止めがあるのに気付かず、躓き転倒し、肋骨を2本折ってしまった。	62	418	2	10 ～ 29
2017	6	12～ 13	二車線の右側を北へ走行中、左側を走行する車両が、バス停でバスが止まった際、ウインカーも出さずに急に進路変更をしたため、左側ボディと接触した。その衝撃により、頸椎捻挫となったものである。	67	231	17	50 ～ 99
2017	6	15～ 16	三車線の中央車線より、三車線目の追越車線へ進路変更をし、前の車両を追い越した際、前の車両も追越し車線へ進路変更をして来て、衝突した交通事故である。当方タクシーは営業中で、乗客1名有りであった。	63	231	17	100 ～ 299
2017	6	10～ 11	弊社バス車庫から事務所へ鍵を取りに行く際、小走りで駐車場内を通過中に、設置してある再帰反射板（キャッツアイ）に左足をのせる形で滑らせ、左足首を捻り受傷した。	27	417	2	100 ～ 299
2017	6	10～ 11	タクシーの異常箇所確認の為、後部座席に乗っている時、運転者が急ブレーキを掛けた際、前座席の防護板に右目を当てて負傷した。	48	231	3	50 ～ 99
			互いが狭路の進行において、当方は東行き、先方は南行きで、南北				

2017	6	6～7	の道路に一旦停止の標識があった。交差点進入時、北方向よりノーブレーキで南行して来た車両に気付くも、先方のスピードが出ていたため、停止出来ずに当方の車両に接触した後、東南角のビルへ突入した。直接大きな衝撃はなかったが、急な運転操作を強いられた事によって、体調の不良に至った。	68	231	17	100 ～ 299
2017	6	14～ 15	観光お供中、お連れのお子様（5才）が、映画セットの橋を転げ落ちるのを受け止めた時に、右足首を捻った。	53	921	6	100 ～ 299
2017	6	8～9	交差点を右折する際、直進して来た車と接触した。	67	231	17	100 ～ 299
2017	6	15～ 16	交差点東200m先の道路上で渋滞停止中、後方より追突されたものである。	60	231	17	100 ～ 299
2017	6	11～ 12	実車（女性1名）で交差点を信号待ち停車中、先方に追突され、はずみで前車に追突したものである。	67	231	17	100 ～ 299
2017	6	16～ 17	信号待ちのため停車していたところ、後方から来た乗用車に追突されたものである。	57	231	17	50 ～ 99
2017	6	2～3	お客様を乗せ、戻る途中、発生場所交差点の信号が赤に変わったため停止していたところ、後方から加害者運転の車が、左側に同じく停止していた軽トラックの右後部へ接触し、その後、被災者が運転するタクシーに追突してきたため負傷した。	57	231	17	50 ～ 99
2017	6	8～9	会社内にあるトイレで清掃業務を終えて、事務所へ戻ろうとしていた際、水掃除で濡れていた石段で滑り、上段より下段まで落ちた。	66	413	1	50 ～ 99

2017	6	12~13	昼休憩中、本社営業所休憩室で昼食後に吐き気がしたため、駐車場奥に行こうとしたところ車止めに躓き、約1m下の線路脇に落ち、腰を強打した。	71	417	1	30~49
2017	6	0~1	勤務中、道路を塞ぐように加害者二人が立っていた。その内の一人がひどく興奮気味に絡んできたので、注意しようとしたらいきなり暴行を受けた。	43	921	90	50~99
2017	7	3~4	会社の洗車場内にて、乗務員が本日乗務する車の点検作業中、車両右側の前後のドアを開けた状態で外から、左腕を室内に入れてシートベルトを調整していたところ、委託され洗車業務を行っていた作業員が、乗務員が左腕を入れている事に気付かず後のドアを閉めたため、ドアと車両に腕を挟まれ、怪我をしたものである。	74	231	7	100~299
2017	7	18~19	倉庫内で米のフレコンロープをフォークリフト爪に通す際、爪を右胸部にぶつけた。	61	417	2	30~49
2017	7	2~3	市内からお客様を乗せ途中前に現れた車が蛇行、急ブレーキ等を行い、交差点を前車に続き左折、左折後車両に急停止され自車も停止。相手が車から降りてきて煽っただろう、窓を開けろと騒いだため仕方なく窓を開けたところ、右手で3回殴られた。	46	921	90	100~299
2017	7	1~2	お客様（女1人）を乗せて進行中、交差点で、信号待ちで停止していたところ後方から来た車両が追突して来たため首、腰に傷害を受け、また乗っていたお客様も傷害を受ける事故にあった。	65	231	17	100~299
2017	7	10~11	当日、本人は32Aダイヤの担当で点呼を終え、営業所の屋外駐車場において出発準備をしていた。その時突然ハチに追いかけられ営業所屋内に避難しようとした際、入り口の段差（約3cm）につまずき転倒、手をつく間もなかったため、左肩・腕あばらを強打し、打撲（全治三週間の診断）また、その時かけていた眼鏡のフレームの破損により、左頬に4針縫うケガを負った。	55	417	2	100~299
			ガソリンスタンドで、タクシーに燃料を入れに行き、注入中、窓ガ				

2017	7	9~10	ラスを拭こうと思い、タオルを持って水道の所に行った。その日、雨が降っており、青苔もあり、足が滑り膝に体重がのり、仰向けに転倒し、骨折してしまった。会社に戻り、納金をすませたが、痛みが酷かった。	68	416	2	100 ~ 299
2017	7	10~11	工場内のNC旋盤のベルトを掃除している時に、機械を止めないで掃除をしたため右手指先を巻き込まれてしまった。	61	231	17	50 ~ 99
2017	7	20~21	鮮魚作業場にて、マグロを包丁で加工中、左手で包丁の先端を押さえていたが、包丁を握っていた右手を動かした際に包丁が滑り、左手の平の中央部分を刺してしまった。	49	911	90	100 ~ 299
2017	7	9~10	顧客先に於いて移動させていたラック（高さ170cm、横100×80cm、重さ20kg）が段差で傾いたので支えようとした処、左脚がラックの格子の間に入り込んでしまい受傷したものの。	40	231	17	500 ~ 999
2017	7	1~2	駐車場で友人と友人から紹介をいただいたお客様と待ち合わせをし、友人の車でお客様の希望されるレストランに向かう途上の事故。踏切で停車中に追突された。友人からお客様を紹介していただき、レストランで昼食を取りながら保険の説明をする予定だった。事故後は救急搬送された。頸椎捻挫、右肩の打撲、腕が重い感じがして上げにくい。	38	231	17	100 ~ 299
2017	7	19~20	K荘にて、掃除中に廊下から土間へ足を滑らせ左足首を骨折した。	66	231	17	100 ~ 299
2017	7	23~24	1階外壁（トタン）解体工事中、脚立1段目で作業をしていたら誤って転倒し肋骨を負傷したものである。	67	231	17	100 ~ 299
2017	7	23~24	厨房で配送を行っていた際、配送番重に右手薬指をぶつけた。	51	231	17	100 ~

									299
2017	7	19~20	練習場小屋の中で机の上に乗り、サッシを清掃中にバランスを崩し右足の踵から地面に落下したため、右踵を負傷した。	60	231	17	~	299	100
2017	7	7~8	被災当日、業務を終え営業所に帰社し退社しようと事務所のドアを開け自家用車に向かおうとした際、出入口の石段に誤って躓き転倒してしまった。その時膝を強打してしまい負傷した。その日は痛みがあったものの夜間だったため自宅へ帰り、翌日も痛みがあった。	71	418	2	~	299	100
2017	7	3~4	客を乗せ行き先を確認し目的地に到着した。客が料金を支払わず後部右側ドアを自分で開け逃げようとした。私がタクシーを降りた瞬間、いきなり右目・左目・鼻を殴られた。	58	921	6	~	29	10
2017	7	21~22	朝出社して、点検点呼を受け出庫した。25回目の仕事で駅南口からお客様を乗せモノレール沿いに走行して赤信号にて停車。後ろから来た相手車両に追突され記載のとおり負傷したものである。	51	231	17	~	299	100
2017	7	15~16	信号待ち時に追突された。	51	231	17	~	299	100
2017	7	23~24	当方、乗客2名を乗せ途中小学校入口の信号が赤なので前車に続き停止しようとしたところ、後方からきた相手車両に追突され、負傷したものの。	58	231	17	~	99	50
2017	7	15~16	東口よりお客様を乗車し目的地にて降車。同じ道を回送中現場信号が赤のため停車していた所後方から害者運転の車が私の後方にいた車にぶつかりその車はずみにより追突されたものである。	54	231	17	~	49	30
2017	7	1~2	当該者は信号機のある交差点を赤信号で通過しようとした処右方より走行してきた相手方車両と衝突し負傷した。	62	231	17	~	299	100
			タクシー運転中、安全確認のため、運転席から後ろを振り返った						30

2017	7	22~23	際、首をひねった。その後も、左右や後ろの確認で首を動かす度に痛みがあった。	47	921	19	~	49
2017	7	16~17	交差点で信号待ちをされていて、信号が青になり出発しようとした際、後方車両に追突された。	67	231	17	~	100 299
2017	7	18~19	道幅の狭い新幹線側道で、対向車に道を譲って停止したところ後続の相手車両に追突される。	72	231	17	~	50 99
2017	7	15~16	階段を下りた際に転倒し、負傷した。トイレに行く時に負傷した。	66	413	1	~	50 99
2017	7	17~18	お客様を目的地までご案内する途中、当方片側二車線の信号のある交差点で赤信号を見落として進行し、右から直進してきた相手車両と出合衝突その際膝を強打した。	61	231	17	~	50 99
2017	7	11~12	作業場で清掃作業中にフォークリフトにて移動しながら降りる際に足元の段差に気づかず段差の上に足を置いてしまい左足を捻り左足首を捻挫した。	51	231	17	~	10 29
2017	7	3~4	交差点西行信号待ち停車中後方からトラックにノーブレーキに近い状態で追突された。	62	231	17	~	100 299
2017	7	6~7	お客様のお荷物（約5kg）をトランクに積み込むため中腰で作業を行った際、腰部を負傷した。	43	611	19	~	100 299
2017	7	6~7	専用乗り場にて、同僚が車両を停車し、車両から離れトイレに行った際、道路の形状が下り坂になっていたため自然に動き出し、下った先で停車中の運転士が制止しようと降車したが間に合わないと判断。危険も感じたため、自車に戻ったがその際に左足を強く踏ん	64	231	17	~	50 99

			張ったことと、衝突した衝撃で左足を負傷したもの。				
2017	7	10~11	ガス給油所にて、給油の際に降車してトイレに行った後、車に戻る途中にわずかな段差に気付かず、左膝から前方に転倒し負傷した。その後、近くのコンビニへ行き、氷を購入して約50分間冷やして痛みが引くのを待った。左膝だったので運転には支障がないと自己判断し、夕方まで運行したが痛みを耐えきれず帰庫し、運行管理者に報告した。その日は様子を見たが、翌日になっても痛みが引かず、腫れも増した。	65	417	2	50 ~ 99
2017	7	17~18	点呼を受けた後に営業車の入替準備をする為、自家用車へ戻る際、深さ約10cmのマンホールのくぼみにつまずき転倒し左足を捻ったもの。その後、業務を開始したが痛みが強くなり帰社し、管理者へ報告し通院の為に早退したが、自宅へ戻った際、痛みが和んだが、後日、左足捻挫と診断された。	62	417	2	300 ~ 499
2017	7	19~20	当車両、赤信号の為に停止する時後継車の相手が当車両に追突してきた事故。	52	231	17	100 ~ 299
2017	7	15~16	整備工場、点検作業場内で、エアーもれを点検する為車両後部をジャッキ中アップし車両下に入り点検していた。フレームか頭部顔面に接触し後ろへ転倒し腰部を打ち負傷したものである。	64	231	4	30 ~ 49
2017	7	1~2	被災従業員は、お客様を降ろした後、会社に戻るために走行し、緩やかなカーブに差し掛かった時にハンドル操作を誤ってしまい、センターラインを越えて反対車線の信号機の補助柱に衝突し負傷した。	71	231	17	30 ~ 49
2017	7	11~12	お客様より迎車依頼があり、到着して程なくお客様が来たので、ドアサービスを行うため、車から降りて移動したときに転倒した。その際、左肘を路面に強打し切傷し、右肘を3針縫う手術を受け、全治10日の診断を受け通院を要することとなった。なお、現場は小雨が降ったあとで、路面が滑りやすくなっていた。	52	417	2	100 ~ 299





2017	7	2~3	お客様降車後、走行中に交差点の信号が赤に変わり一時停止していたところ、後方から加害者運転の車がノーブレーキで追突してきた。そのときのショックで、首や腰などを強く打ち負傷した。	65	231	17	~	100 299
2017	7	7~8	整備工場内で、ショックアブソーバーのオーバーホール作業中、スプリングが顎に当たり怪我をした。	55	911	3	~	100 299
2017	7	23~ 24	交差点において、一方通行から出た被災者が運転するタクシーの左前部に、左から進行してきた小型乗用車が接触し、前部バンパーと左側フェンダーが大破した。その衝撃により、首のつけ根及び腰に違和感を覚えた。その後、事故処理のため頑張っていたが、翌日に首の左側に痛みが出るようになった。また、左側の付け根に張りを感じられ、腰の左側に違和感があったため受診し、頸椎捻挫、腰椎捻挫と診断された。	75	231	17	~	300 499
2017	7	14~ 15	実車中、直進方向に進行していたところ、後方から来た車両に追突され負傷した。	49	231	17	~	500 999
2017	7	13~ 14	停車しようとした際、後方から進行してきた車輛に追突され負傷した。	59	221	17	~	100 299
2017	7	7~8	本社被害社員が構内に歩いているとき、同じく加害社員が突然後頭部から首の間辺りを殴打したため、白内障を発症した。その少し前にも被害社員が加害社員を前方から足で蹴っており、二人は半年前から口頭ケンカの争いがあったとのことである。	64	911	90	~	300 499
2017	7	23~ 24	信号待ちで停車中、後方より追突された。	53	231	17	~	100 299
2017	7	10~	一旦停止路で、左折しようと安全確認をして停止していたところ、後方から来ていた前方不注意の車両に追突され、衝撃で頸部及び腰	52	231	17	~	100

		11	部を負傷した。					299
2017	7	15～ 16	適性診断を受講し、当ビルより歩道に入る際、段差に気付かず転倒し、左手の薬指と小指に裂傷を負った。	81	417	2		50 ～ 99
2017	7	7～8	道路をタクシーにて流し営業をし走行中、道路上に左前方歩道に旅客と思われる男性がいたため、そちらに気をとられてしまい、前方に乗降のため停止していた車両があることに気づくのが遅れ追突した。その衝動で胸部をハンドルに強打して打撲を負った。	69	231	17		100 ～ 299
2017	7	7～8	社屋1階階段にて転倒し、右肩を負傷したものである。	54	413	2		50 ～ 99
2017	7	1～2	走行中、信号交差点が赤のため停止した際に、後方から走行してきた車両に追突され、その際の衝撃で頸椎捻挫を負った。	47	231	17		100 ～ 299
2017	7	15～ 16	駅東口のタクシー待機場所にて、客待ちのため車中で待機を開始した。車中ではエアコンを稼働させ、適度にスポーツドリンクで水分補給していた。車内に置いてあった傘をトランクルームに収納するため、外に出て、後方のトランクルームへ移動したところ、傘を収納したと同時に意識を失い倒れた。当時は、午前中に雨が降り、午後から晴れたため、湿度が高く、非常に蒸し暑かった。服装は、長袖のワイシャツにネクタイ、スラックスを着用していた。被災者は、前日より風邪気味で多少の倦怠感があったが、熱はなく、食欲もあったためいつも通り出勤していた。	53	715	11		10 ～ 29
2017	7	3～4	洗車機で洗車中に、洗車機が止まり、呼び出し音が鳴ったが係員が出てこず、車の外に出て事務所の方に行こうとしたとき、洗車場が濡れていたため2回転倒し、左足首両側を骨折した。	66	417	2		50 ～ 99
			タクシー乗務中にトイレに行きたくなり、公園内のトイレに入った					10

2017	7	2～3	ときに足を滑らせ転倒した。転倒した際、左手を強く地面についたため、左手首を骨折した。	57	417	2	～ 29
2017	7	17～ 18	交差点において、右折レーンで停車中、後方からきた相手車両に追突され負傷した。	64	231	17	～ 300 499
2017	7	16～ 17	路上に降車する際に、右足を捻り転倒し、右足首を骨折した。	65	921	19	～ 100 299
2017	7	15～ 16	タクシーを運転中、当方が前車に続いて停止したところ、左後方より相手方大型車両に接触され負傷した。	57	231	17	～ 100 299
2017	7	1～2	青信号で右折したところ、対向の赤信号直進車と接触した。	54	231	17	～ 100 299
2017	7	8～9	タクシー乗務中、自転車と接触事故を起こし、相手の自転車を会社の自家用車に積み込もうとしたときに、自転車のペダルが右足に当たり負傷した。	65	362	3	～ 100 299
2017	7	16～ 17	お客様の大型スーツケースをトランクから降ろす際、左肩から背中や腰に掛けて激痛が発生した。それ以降も業務を継続したが、痛みが酷くなった。	55	921	19	～ 100 299
2017	7	11～ 12	車庫構内で、脚立を使ってジャンボタクシーにワックス掛けをしている際、脚立を移動させるため、脚立から降りようとした時に足を踏み外し、お尻から落下して強打し、第12胸椎を圧迫骨折した。	63	371	1	～ 10 29
2017	7	8～9	横断用信号を北から南へ横切ろうとしたとき、一旦停止し、相手車がかかり遠方に見えたので通り過ぎせると判断し直進したが、相手車があまりにもスピードを出していたため、交差点にて相手車正面と当社営業車の左角が衝突し、半回転し、車線上に止まり、相手車	69	231	17	～ 10 29

			は歩道へ乗り上げて停止した。事故当時、相手車は内側車線から外側車線に移動したが、ブレーキ痕は見られなかった。				
2017	7	14～ 15	当該車両が整形外科前の道路を西進していたとき、相手車両が薬局駐車場よりバックにて急発進し、接触した。	47	231	17	30 ～ 49
2017	7	10～ 11	福祉車両でお客様宅に着き、ストレッチャーを玄関から抱えて出てくるとき、傾かないように水平に保とうとして、腰を痛めてしまった。	48	612	19	50 ～ 99
2017	9	15～ 16	当該乗務員は、出番日に於いて始業前の車両点検の為、本社敷地内を歩いていた所、マンホールの窪みに躓き転倒した際、両手を負傷した。	61	419	2	300 ～ 499
2017	9	22～ 23	タクシー乗務中、お客様を乗せて交差点で赤信号のため停車中に後方車両が発進したため追突された。追突の衝撃により首と腰を痛めて、部分入れ歯を引っかけていた本歯が抜けてしまった。	59	231	17	100 ～ 299
2017	9	11～ 12	皮膚科クリニックの駐車場において、お客様に手を貸そうと屈んだところ負傷したもの。	63	921	19	100 ～ 299
2017	9	20～ 21	当該乗務員は、夜勤勤務に従事し、無線配車のお客様をお迎えにあがり、そのお客様の車いすをトランクに積み込む際、腰を痛めたがそのままお客様を目的地までお送りしたあと、痛みが引かない為近くの医療機関を受診した所、そのまま入院となったもの。	65	921	19	100 ～ 299
2017	9	15～ 16	タクシーのお客様の自宅前で、身障者で両足が不自由なため、タクシーから玄関までの間、抱きかかえて移動中、腰に負担がかかり負傷した。	73	921	19	30 ～ 49
2017	9	4～5	交差点にて信号待ちをしていたところ、後ろから来た乗用車に追突される。	60	231	17	100 ～ 299

2017	9	2~3	交差点内にて乗車の申し込みがあり、乗車後交差点と指示され後方なので交差点内だが、後方の車が直進の途切れた所で右折を開始してしまい、対向の直進車が助手席側面に衝突し当方車両が転覆した。	60	231	17	100 ~ 299
2017	9	4~5	会社の外階段を降りる際、足を滑らし2段程落下、地面に右膝を強打した。	70	413	1	300 ~ 499
2017	9	3~4	路上を徐行にて走行中、カラオケ店の前に立っていた男性が突然車両左後部ドアを蹴り、乗務員が注意しようとしたところ、殴る蹴るの暴行を加え、骨折2ヶ所打撲5ヶ所、右目瞼3針縫う大怪我を負ったものである。	68	911	99	100 ~ 299
2017	9	9~ 10	路上を会社の車両で走行中に交差点を左折しようとしたところ、歩行者が歩いていたので一時停止し、待っていたところ、後続の車両がそのまま進行してきて追突された。体を強く打ち負傷した。	25	231	17	50 ~ 99
2017	9	5~6	大雨の朝、乗務員は社内駐車場で帰庫時、ドアを開け車から降りる際、足が雨で滑り、急いで右足を踏ん張った所、右腿の筋肉を傷めた為、MRI検査を受ける。	44	419	19	100 ~ 299
2017	9	10~ 11	出庫前車両点検時、足元の縁石につまずきバランスを崩した際に、右前ドアが開いていたため、右脇、腰をぶつけた。	55	419	3	300 ~ 499
2017	9	5~6	上記日時にてタクシー営業中、T字路にて当方直進、一時停止不履行の相手方車両に追突され負傷したものである。	48	231	17	500 ~ 999
2017	9	19~ 20	上記日時において、タクシー実車走行中、車間不足の為、先行車の停止に対応できず追突してしまい負傷したものの。	32	231	17	500 ~ 999
		10~	タクシー営業中、当方優先で相手側に一時停止義務のある交差点を				100

2017	9	11	通過した際、右方から来た一時停止不履行の車両により、当方、右後方部に側面衝突された。	65	231	19	～	299
2017	9	21～ 22	お客様を乗せ、赤信号にて停止、信号が青になった為、前車に続いて発進しようとしたところ、後方の車が追突してきたものである。	70	231	17	～	100 299
2017	9	9～ 10	業務で1階に用があり、2階の事務所から階段を下りる際、足を踏みはずし転倒して左腕を骨折した。	59	413	1	～	10 29
2017	9	19～ 20	所属車両に乗務し営業していたところ、被災者が運転する車両が追突したものである。（4台玉突き。）整形外科を受診し、頸椎、腰椎捻挫、背部両肩両股挫傷の診断を受けた。	60	231	17	～	50 99
2017	9	2～3	営業係は流し営業中、上記場所に於いて赤信号停止中、相手方車両に追突され受傷したものである。	50	231	17	～	300 499
2017	9	6～7	営業係は帰宅途中、赤信号停車中、相手方車両に追突され受傷したものである。	49	231	17	～	300 499
2017	9	14～ 15	車椅子の男性をご自宅まで輸送、降車後、自宅マンションの入口に階段があるので手伝って欲しいとの要望があり、手伝ったところ車椅子を引き上げた時に、背骨を圧迫骨折した模様。	68	911	19	～	100 299
2017	9	20～ 21	乗客を乗せる為、合図を出し停車していた際に後方より来た相手に右後に追突されたものである。	48	231	17	～	50 99
2017	9	0～1	お送中、信号のない交差点を直進した際、右方から来た相手車と出合頭で衝突、その弾みで住宅の塀に激突し負傷したものである。	65	231	17	～	100 299
		10～	空車にて西進中、対向車線右方から飛び出してきた軽トラックと衝					100

2017	9	11	突した、腰部に痛みを感じたため病院を受診した。	51	231	17	～ 299
2017	9	10～ 11	グラウンドの敷地内で、シャツ一枚の格好で頭から血を流した状態で木陰で座っていた。バス乗務の合間の清掃作業で負傷したと予想されるが、労働者が記憶なく証言を得られず、警察の捜査でも事件性はないと見られ、現状での災害発生原因は不明、負傷日に労働基準監督署に相談のうえ、労災にてひとまず対応することになった。	68	999	99	～ 299
2017	9	5～6	車庫にて出庫の為に車輛の清掃を行っているとき、脚立から降りようとして脚立階段に足がひっかかり、バランスをくずし、滑って地面へ左足の甲より落ちてひねったものである。	64	371	1	～ 299
2017	9	7～8	農業倉庫新築工事において、雨だったので作業が遅れていた為、翌々日に出勤し、屋根（高さ6m）の板金取りけ作業中、取り付ける作業内容を確認するため、指導者のいる所まで約10mの距離を歩いていた時、足が滑りまだ取り付けていない、板金屋根の淵に左手を付いてしまい、手の平を切ってしまった。	64	417	2	～ 299
2017	10	13～ 14	当該乗務員はタクシー営業中、右側T路交差点から右折車が急に飛び出し、当方のフロント右側面に衝突、その反動で歩道側にある滑り止め用の砂ボックスに衝突したものである。	49	231	17	～ 299
2017	10	7～8	当該乗務員は勤務日において、お客様を実車で第3車線を走行中、第2車線を走行中の車両が急に右折してきて接触した際に負傷しても	43	231	17	～ 999
2017	10	21～ 22	路上付近でお客様を乗せ走行中、降雨及び夜間の為、道路が見づらく、T字路交差点を左折時に路肩を逸脱し、斜面より約1.5m下の田んぼに転覆した。	70	231	17	～ 299
2017	10	14～ 15	冬囲いの為、屋根に上り、屋根近くの木の枝を切っている時、誤って屋根から落ちた。	70	415	1	～ 29





2017	10	2～3	タクシーに乗務し青信号にて進行中、赤信号を無視した相手車輛が衝突半回転し、車輛後方が電柱に衝突したもののこの衝撃により負傷したもの。	68	231	17	～	100	299
2017	10	1～2	当方、交差点進入後、渋滞にて停車時後続車輛に追突されたもの。その際、被災労働者が受傷したもの。	58	231	17	～	100	299
2017	10	23～ 24	タクシーに乗務中、交差点にて赤信号停車中、脇見運転の車輛が輛に追突。車輛が勢いにて当車に追突。当車はその勢いにて車輛に追突した際その衝撃にて運転手が負傷したもの。	57	231	17	～	100	299
2017	10	11～ 12	勤務中に運転席に乗り込む際に車のドアに右眉付近をぶつけて負傷。4針縫う怪我を負う。	51	231	3	～	500	999
2017	10	9～ 10	前方を走行中の車両が停止したので停止したところ、後方より追突され、同時に前方の車に玉突きとなった。	29	231	17	～	50	99
2017	10	4～5	走行中（タクシー営業中、空車）道路前方をフラフラと歩く男性二人がいた。男性二人が十字路で道路左側に寄ったので、その横を徐行しながら通過した際、うち一人がいきなり車両側面を足で蹴った。蹴った男性を呼び止めようとすぐに停車し、車を降りた際（声を掛けながら近付いた瞬間）、左顔面を殴られ、右足を蹴られ、体を振り回される等の暴行を受けた。暴行者は1人。片言の発言した様子から外国人ではないかと感じた。この暴行により全治1カ月の怪我を負った。男性二人はその場から逃走した。	56	921	90	～	100	299
2017	10	13～ 14	左車線を走行中、中央車線より車線変更してきた車が接触し負傷した。	29	231	17	～	100	299
2017	10	11～	走行中、カーブ付近にてスリップをして、路肩に停車していた相手	68	231	17	～	100	

		12	方車両に接触をし、負傷をしたもの。					299
2017	10	8～9	第一車線を走行中、第二車線の車が、左ウィンカーを出していたので、その車より前に出ようと、加速した際、急に前方が渋滞し始めた為急ブレーキをかけた所、右側面に接触され左前輪が縁石と接触してしまった。	58	231	17	～	50 99
2017	10	22～ 23	当方の2台前の車が右折しようとして停車していた為、1台前の車両と当方が停止していたところ、後方より進行してきた相手車に追突され負傷したもの。	68	231	17	～	100 299
2017	10	22～ 23	交差点にて、信号待ちの為停車している際、後続の相手車両に接触されたものである。	63	231	17	～	50 99
2017	10	20～ 21	タクシー乗務中に、乗客を迎えに料理店へ向かった際、店先にあった段差につまずき、倒れた際に骨折をしたもの。	64	417	2	～	50 99
2017	10	0～1	交差点を右折しようとした際、横断歩道を横断して来た歩行者がいたため手前で停止したところ、後続車両に追突されたもの。	42	231	17	～	100 299
2017	10	15～ 16	トランクからお客様のスーツケースを取り出す際、両腕を伸ばして手前に引こうとしている際、右腕がパチンと音がして痛みが走った。	57	611	19	～	100 299
2017	10	14～ 15	病院車庫において救急車の洗車中、脚立から足を滑らせ転倒。脚立の角で鼻を強打。	63	371	1	～	10 29
2017	10	16～ 17	駅のタクシー待機所から自販機横にあるゴミ箱へ缶等のゴミを捨てる途中、雨の中、坂になったアスファルトで足を滑らせ前向きに転倒。左眼周囲浮腫、左眼眉上挫創。	69	417	2	～	300 499
			救急車を運転する乗務員派遣業務中、搬送先の病院駐車場において					

2017	10	15～ 16	患者を乗せたストレッチャーを降ろす作業中、救急車のリフトが故障し、手作業でストレッチャーを降ろすこととなった。その際腰部に激しい痛みがあり、負傷したもの。	66	921	19	～ 99	50
2017	10	12～ 13	走行中、信号機赤色にて停車中、後方相手方車輛に追突されて負傷した。（頸椎捻挫、腰椎捻挫、左肩関節捻挫。）	63	231	17	～ 99	50
2017	10	4～5	営業車にて走行中、車の右側後部のドアを相手に蹴られたので、近くの防犯センターへ相手を持って行こうとしたところ、相手に左顎を殴られて、受傷した。	46	911	90	～ 499	300
2017	10	0～1	配車を受け、現場駐車場に到着後、お店に声をかける前にトイレに行こうとした際に、溝近くの鉄板で足を滑らせ転倒した。後頭部を打ち出血した。	69	419	2	～ 99	50
2017	10	21～ 22	信号待ちにて停車中、追突された。車内では、乗客、乗務員には身体前方に倒れかけ、衝撃あり、ドライブレコーダーにて衝撃映像保存済。車両は後バンパー、トランク損傷あり。	57	231	17	～ 299	100
2017	10	18～ 19	タクシー営業中、お客様をお迎えに行き、向かう途中、出口付近で後続車に追突された。	67	231	17	～ 299	100
2017	10	20～ 21	自車はお客様を乗せ発進する際、後方からきた相手車と衝突。アクセルに乗せていた足をそのまま踏み込んでしまい、前方の駐車車輛に接触したあと、歩道の看板をなぎ倒しながら暴走し街路樹に衝突して停止した。	73	231	17	～ 299	100
2017	10	14～ 15	お客様お迎え時、ドアサービスを終え運転席へ向かう際、雨で濡れた路面で滑って転倒し、負傷した。	45	417	2	～ 299	100
		22～	被災当日は営業車両で出庫し、業務についた。西口南側から乗せた男性客3名の内の1人に目的地への道順を何度も聞いたことで、いい					50

2017	10	23	がかりをつけられて、後部座席から首を絞められる暴行を受け負傷したものである。	70	911	6	～ 99
2017	10	17～ 18	タクシーに乗務し、お客様を乗せ、東向きに走行中、交差点が赤信号のため停車したところ、相手車両に追突され負傷したものの。	61	231	17	50 ～ 99
2017	10	16～ 17	タクシーに乘客を乗せて空港に到着し、トランクからゴルフバックを取り出すため、持ち上げて体を左に捻って地面に下ろそうとした際、腰を痛めた。	69	611	19	1～ 9
2017	10	15～ 16	車庫にて、歩いて移動中シャッターに異物がぶらさがっていたので、それをとろうとしてジャンプしたところ着地時に左足を捻り、負傷した。	64	417	3	100 ～ 299
2017	10	14～ 15	トンネル内で、事故車が走行車線に停車していて、その後方を連なって走行していた大型バス5台のうち3台は事故車の手前で急停止。1台は追い越し車線へ回避したが、最後尾の当該バスが急停止した前方のバスに追突し、衝撃で運転手が運転席とハンドル部分に下半身を挟まれ、左足ヒザと左足首を骨折する。	62	231	17	10 ～ 29
2017	11	3～4	夜間勤務を終了し、事務所から自家用駐車場に戻る途中で凍った路面で転倒し、右手首を痛めた。当日は様子を見ていたが腫れがひどく、翌日に整形外科に受診し、骨折が判明した。	65	719	2	300 ～ 499
2017	11	17～ 18	営業車（タクシー）に乗務し空車で第1車線を西進中、交差点西側で手が上がり15m程通過して第1車線左側に停止し乗客が歩いてくるのを待ち、左後部自動ドアを開けたところ後続より西進して来た加害者運転の車が衝突して来た。このため当該運転者が頸椎と腰椎を負傷したものである。	70	231	17	100 ～ 299
2017	11	13～ 14	勤務中、女性のお客様が乗車し、おつりを渡すため運転席で体を左方向に捻り後部座席に振り向いて右手を伸ばした時、肋骨に痛みがはしった。数日我慢したが、後日痛み悪化のため病院へ行った。	62	921	19	100 ～ 299

2017	11	5～6	出社し、日常点検を済ませ運転日報の指数を確認中（ドライブレンジに入ったまま）車両が前進し、側溝に落ちてしまい、車外に出る際膝の靭帯を痛めた。	69	231	19	～	49	30
2017	11	2～3	酔客を降した後、酔客が道路上で寝てしまったので、後ろから立たせた時、そのまま一緒に倒れ、尻から道路に落ち、骨折したものである。	62	921	19	～	299	100
2017	11	21～22	被災場所において、当方信号に従い停止した際、後続の加害車両に追突され被災労働者が負傷したものである。	53	231	17	～	299	100
2017	11	11～12	ハイヤー営業中、駅前の公衆トイレに行くために路上に車両を停車させ、徒歩にて向かいガードレールを跨いだ際に足が引っ掛かり、尻もちをついたと同時に左手をついたため手首を負傷したものである。	65	418	2	～	999	500
2017	11	8～9	営業所構内にて出庫の準備の為、停車していた車両後部トランクが開き、その際トランク角部分に右肘を強打し負傷したものである。	32	231	6	～	29	10
2017	11	5～6	お客様をお迎えのため車から降りた際、花壇の植え込みに両足を取られ転倒し、左肩を負傷した。	53	419	2	～	499	300
2017	11	1～2	交差点で、右折の際に信号待ち停車中に、右側工事車両の間から、進行して来た車両に衝突され、負傷した。	68	231	17	～	299	100
2017	11	0～1	交差点に来た時、矢印信号の見間違いで赤信号進入してしまい左から来たトラック、オートバイと衝突した。	69	221	17	～	499	300
2017	11	16～17	被災労働者は、被災場所において、渋滞の為、停止しようとした際、後方から進行してきた相手方車輛に追突され、負傷したもので	60	231	17	～		100

			ある。				299
2017	11	9～ 10	タクシーの営業車内において清掃作業中、後部座席のシート交換作業をしていた時に両手を伸ばしてシートのフックを外そうとした際、左肩を痛めたものである。	61	231	19	～ 299
2017	11	22～ 23	乗務員がお客様1名を乗せてタクシーを走行中、前方の信号機が赤になっているのを確認し停止していた。そこに後続して走行していた軽ワゴン車が時速40km程度で当方タクシーに追突してしまい、そのはずみでタクシーが飛ばされて前に停止していた乗用車に玉突き衝突した。タクシーの車体の前後が大きく破損し乗務員とお客様が負傷した。	55	231	17	～ 299
2017	11	9～ 10	タクシー乗務員として運転業務中、路上にて空車でコンビニ駐車場に入ろうと右折待ちをしていたところ、後方より進行して来た脇見運転による前方不注意の車両に追突され受傷したもので、救急搬送された。	57	231	17	～ 99
2017	11	15～ 16	タクシー車両で走行中、路地から出て来た自家用車に接触された交通事故である。	57	231	17	～ 299
2017	11	10～ 11	タクシー営業中、赤信号の為停止しようとしたところ、後方から来た相手車両に追突され負傷したものである。	22	231	17	～ 999
2017	11	21～ 22	当社乗務員である被災者は、走行中の車内において、男性乗客とトラブルになり後部左側から右足で軽く運転席の背もたれに蹴りを入れられた。これにより、被災者は体に痛みがあるとのことで病院を受診し、外科で頸椎捻挫の診断、翌日には別の病院で適応障害の診断を受け、治療・通院を開始し、業務を休業した。	48	921	90	～ 299
2017	11	19～ 20	交差点（信号あり、相手方歩行者信号のみ）で、一時帰社の為、当該道路通行中に、相手車両に左側より衝突されたはずみでスピンしてガードレールに衝突し、受傷した。	58	231	17	～ 299

2017	11	15～ 16	タクシー左リヤタイヤを脱輪し、被害労働者本人が自力でリヤバンパーを持ち上げて復旧させようとしたところ、背中から左腰にかけて激しい痛みを感じて救急車で病院に搬送、入院となった事故である。	81	231	19	～ 99	50
2017	11	23～ 24	当該者が信号待ちしていたところ、後続車の相手方運転士がペットボトルを車内に落としたことに気を取られ、フットブレーキが緩み、当該車両に追突された。	64	231	17	～ 99	50
2017	11	14～ 15	当方車両（甲）が進行中、車線変更のため追越車線から第2通行帯へ移り、そのまま第2通行帯を直進したが、左方（第1通行帯）相手車両（乙）が第2通行帯へ進路変更してきた際、当方車両（甲）に接触し、負傷したものである。	40	231	17	～ 299	100
2017	11	0～1	当該者は信号待ちをしていたところ、信号機が青に変わり相手方が前進せず後退して来たため、逆突し当方の乗務員、乗客が負傷した。	35	231	17	～ 299	100
2017	11	14～ 15	スピードの出し過ぎとハンドル操作の誤りにより、縁石に乗り上げ橋の欄干に激突し大破する。その際エアバッグに胸を打ち受傷する。	60	231	17	～ 99	50
2017	11	9～ 10	当日、営業所内の洗車場でタクシー車両のタイヤ交換作業中、3本目のタイヤを交換時に、腰を圧迫して骨折した。	69	921	19	～ 99	50
2017	11	21～ 22	お客様乗車後、目的地が分からず誤って一方通行を逆走し、交差点を確認不足で進入した際に、右側よりの直進車両と衝突した。	71	231	17	～ 99	50
2017	11	6～7	お客様を迎えに行く時、横道の側溝のコンクリートの蓋が無い所に鉄板が敷いてあったが鉄板が無く、側溝に右後輪が落ちバウンドした時、全身を打ち負傷した。	45	231	1	～ 29	10
			空車になる直前に走行している状態で、メーター機を操作してしま					10

2017	11	7~8	い電柱に接触して頸椎捻挫したものである。	55	231	17	~ 29
2017	11	14~ 15	1日平均2~3人（体重30kg~80kg）のお客様の介助及び長時間の運転による腰の疲労・負担が蓄積した状況の中、タクシー利用のお客様のご自宅において、お客様を車椅子に移乗する際、体重80kg以上ある男性のお客様が後ろにふらつきバランスを崩された。咄嗟にお客様の身体を後ろから持ち上げるように支えたところ、腰に負担がかかり、突然、強い痛みを感じた。その後、病院で腰椎椎間板症と診断された。（介護職歴通算10年以上）	36	921	19	1~ 9
2017	11	11~ 12	お客様をお迎えに行き、お客様が手に荷物を持って見えたので、店舗ドアを開けるため、タクシーを降りてドアを開けて、お客様をタクシーまでお連れして、タクシーのドアのカギとトランクを開けるために運転席側に戻る際に足を滑らせて転倒し、左膝を地面に打ち付けてしまった。	44	417	2	50 ~ 99
2017	11	21~ 22	消防署の前で確認のためハザードを点けて停車中、後続の車に追突された。お客様の無事を確認後本人はハンドルで、胸・肩を強く打っており、病院に搬送され治療を受けた。	23	231	17	~ 299
2017	11	23~ 24	信号交差点内で渋滞の為、停車していたところ、後方車両が右側へ車線変更しようとして接触した交通事故である。当方タクシー営業中で、乗客1名有り。	38	231	17	~ 99
2017	11	8~9	就労時間中に負傷した。赤信号のため停止中、後続の相手方車両に追突され負傷したものである。	70	231	17	~ 499
2017	11	0~1	就業時間中に負傷した。当方、交差点を青信号に従い進入したところ、相手方車両が赤信号無視にて西側から進入し、同交差点内で衝突、当方車両は横転、大破し、負傷したものである。	54	231	17	~ 299
2017	11	1~2	お客様をお乗せして営業中、信号の無い交差点で相手車両が南から北へ一方通行を逆走して交差点に進入し衝突したにもかかわらず、	52	231	17	1~



			軽自動車はそのまま逃走した。乗務員は骨折した。				9
2017	11	12～ 13	交差点赤信号で停車中に、後方より走行して来た車に追突され、負傷したものである。	67	231	17	50 ～ 99
2017	11	15～ 16	実車走行中、徐行していた際、突然泥酔した歩行者がタクシーのドアを開け暴行を受け負傷した。	57	911	99	50 ～ 99
2017	11	10～ 11	冬用のタイヤに交換する為、タイヤを整備場へ持って行こうと車両のトランクへ積み込んだところ、腰部に激痛があり負傷したものである。	37	391	19	100 ～ 299
2017	11	8～9	お迎え先の玄関でお客様が倒れていた為、助け起こそうとしたところ、腰に痛みが生じたものである。	59	921	19	100 ～ 299
2017	11	5～6	被災当日は前日の朝にタクシー営業車両で出庫、業務に就いた。翌日早朝に入庫し、営業車両の洗車、納金、入庫時の点呼等を終えて、帰宅しようと会社正面の階段を下りていた。後3段位のところで誤って転倒し、落下して負傷したものである。	69	413	1	50 ～ 99
2017	11	20～ 21	乗客を降ろし、戻るため走行中、交差点で青信号だったのでUターンをしたところ西から直進して来た相手方のバイクが右後部に衝突した。このため被災者は、首に痛みを感じ、病院へ行ったところ頸椎捻挫と診断された。	62	231	17	50 ～ 99
2017	11	0～1	交差点路上にて、赤信号で南向きに停車中、後方より走行して来た車両に追突され負傷した。実車中の事故である。	54	231	17	100 ～ 299
		23～	路上にて客を迎えに行き、タクシーに乗せようとした時、乗せようとした客（酒に酔っていた）から、料金の見込額を問われたが、入社間もない被災者がうまく答えられなかったためか、客が突然怒り				10

2017	11	24	だし、殴る、蹴る、首を絞めるなどの暴行を受けた。被災者は車に避難し、間もなく警察が到着し、相手は現行犯逮捕され連行された。その後、被災者は救急車で病院へ行った。	52	921	19	～ 29
2017	11	14～ 15	お客様を降車させる時、助手席の荷物を降ろし、ドアを閉めた時、ドアで左手小指を挟み骨折した。	58	231	7	100 ～ 299
2017	11	0～1	信号赤で停車中、後方よりノーブレーキの普通車に追突された。	66	231	17	30 ～ 49
2017	12	2～3	当車が、空車にて交差点を青信号で通過する際、右方向より走行して来た相手車両が、赤信号にて交差点内に進入してきた為、出合い頭に衝突した事故である。	65	231	17	100 ～ 299
2017	12	17～18	道路を進行中、左側中通りから出てきた乗用車に衝突され負傷したものの。	43	231	17	100 ～ 299
2017	12	8～9	当該乗務員は、タクシーを空車で走行中、左前方の歩道上よりお客様から手が上がり乗車させる為、左に寄せて停車した所、後方より走行して来た相手車に接触されたものである。	55	231	17	100 ～ 299
2017	12	13～14	当該乗務員は、出番日に於いて、勤務中、足が不自由で車いすを使用していたお客様を病院から自宅までお連れし、お客様の履物がスリッパであった為、親切心で玄関先までおんぶをした所、腰を痛めたものの。	62	719	19	300 ～ 499
2017	12	9～10	燃料のガス充填終了後、車両に乗車時、自ら開けたドアの角に頭部をぶつけ、打撲・裂傷を負った。	59	231	6	100 ～ 299
2017	12	16～17	勤務を終え帰宅しようと、会社構内を自家用車で走行中、洗車機か	65	231	6	500 ～

			ら出て来たタクシーと接触したものである。				999
2017	12	11~12	車庫内にて洗車終業後、車庫内に担当車両を駐車したあと、タクシーのトランクから本人のバッグ等を取り出し、運転席に戻る際、駐車場後方の車輪止めにつまずき転倒した。その際、車庫のコンクリート床に左ヒザを打ちつけ、半月板を骨折した。	67	419	2	50 ~ 99
2017	12	9~10	集金したお金を事務所2Fへ届けて、階段を下りる際に、おどり場より下2段下りたところ、足を滑らせて下まで落ちた。	63	413	1	30 ~ 49
2017	12	11~12	タクシーのお客様の乗降を手伝おうと運転席から降りた時、路面が凍結しており、背中から強く転んでしまった。	66	416	2	30 ~ 49
2017	12	23~24	交差点にて北向きで信号待ちをしている時に後方から飲酒運転の盗難車に当て逃げをされた。すぐに追いかけて、住宅地内ではつかまえた。その際もバックで衝突された。	44	231	19	300 ~ 499
2017	12	6~7	営業終了後、車庫棟3階で洗車拭き上げ時、移動の際、床の凍結で滑り転倒し、肋骨を骨折した。	69	719	2	300 ~ 499
2017	12	11~12	当方が信号待ちをしていた所に相手の車が追突してきた。	68	231	17	30 ~ 49
2017	12	17~18	業務時間中、乗客を乗せ、タクシーを走行中、道路上で左側通路から突然トラックが進入し、車両の左前部に衝突した。衝突された際、被災者はエアバックの圧迫により胸部を締められ、また顔面も強打し負傷した。	68	221	17	10 ~ 29
2017	12	19~20	タクシーでお客様を迎えに行った際、スーツケースを車のトランクに積み込もうとした所、風が吹いてトランクが閉まりそうになったので、とっさに押さえようとした際、右足にしびれと痛みが走っ	46	231	19	100 ~

			た。				299
2017	12	7~8	タクシーを運転している際、信号待ちで停車していたところ、後方から追突された。	66	231	17	100 ~ 299
2017	12	11~12	前日のタクシー乗務の売上金を業務終了後に会社に入金できなかった（営業所が終わっていた）ため、非番（休日）の日に自家用車で会社へ持参しようとした際の事故である。自家用車で事務所に到着し車を降りようとしたところ、シフトレバーをパーキングに入れていると思ったが、ドライブに入ったままであった。そのため車は前進し、想定外の挙動のため慌ててしまい制動できず、そのまま自動車は敷地の外に出て縁石に乗り上げて交通事故となった。原因は、自動車操作の誤りによるものである。	69	231	17	10 ~ 29
2017	12	0~1	当日、夜間営業で、外国人男性客1名に乗車依頼を受けた。目的地に到着すると、9,900円の料金請求に応じてくれないので、防犯灯を遂行した。他のタクシー乗務員が近くの交番を教えてくれたので車を進めると、客車のドアを自分で開けたので危険回避のために車を止めた。停車と同時に運賃を支払わず逃走したので追いかけると、胸を一発、頬を二発殴られた。そのとき周りにいた5~6人が男を取り押さえ、駆け付けた警察官に引き渡した。その後、警察署にて調書を作成した後、病院にて検査を受けると、左胸部打撲、気胸の疑い、及び顔面打撲、口唇裂傷で全治3週間と診断された。	58	719	6	100 ~ 299
2017	12	14~15	お客様実車中、目的地に到着し、停車をして支払い中、当方車両右後バンパーに、トラックが接触してきたもの。	23	221	17	500 ~ 999
2017	12	6~7	業務終了時、会社内の浴室にて入浴中、足を滑らせ、タイル床に転倒し、負傷したものである。	68	418	2	100 ~ 299

2017	12	3~4	駅入口付近にて乗客を乗車させるため停車したところ、後続車に追突され、頸椎を捻挫した。	44	231	17	100 ~ 299
2017	12	10~11	タクシー営業中、赤信号停車中に後方車両に追突され負傷したものである（二重追突の先頭）。	52	231	17	500 ~ 999
2017	12	7~8	営業所内にて、日報記入後、立ち上がろうとした際、後ろのいすに足をとられ転倒し、更に後ろにあった机に後頭部をぶつけ負傷した。	59	391	2	100 ~ 299
2017	12	7~8	路上にて、渋滞中に停車したところ、後方からきた車両に追突され、前車にも玉突きした為、自車前後の損害とともに、当該乗務員が頸椎を損傷したものである。	66	231	17	100 ~ 299
2017	12	1~2	当方が空車にて走行し、当該交差点を青信号にて通過しようとした際に、相手車両が赤信号を見落とし、交差点に進入した為に衝突したものである。	62	231	17	100 ~ 299
2017	12	1~2	信号のある交差点で、赤信号を見落とし、右方より進行してきた車と衝突したものである。	61	231	17	100 ~ 299
2017	12	11~12	信号待ちで停車中、2台後方の車に追突され玉突きになった事故である。	41	231	17	100 ~ 299
2017	12	16~17	空港の施設内にて、駐車カードに印をもらいに行く際、急いでいたため、足がねじれた状態で強く踏み込んでしまい、左足の踵を骨折した。	45	417	19	300 ~ 499
2017	12	0~1	空車でタクシーを走行中、歩道に居た男にジュースの様なものを車にかけられた。車を止め、外に出たところ、男に顔面をなぐられ、その際に左膝を外側へひねってしまった。男は逃走してしまい、面	53	911	90	100 ~ 299

			識はない。				
2017	12	5~6	東口よりお客様を乗車し、目的地を告げられ、とりあえず発車した。途中、詳しく場所の確認をした所、言葉のやり取りで口論になり、埒があかず、交番に行こうということになり、また発車・乗車の場所に戻り、車から降りたとき、相手から一方的に暴力をふるわれた。その後、交番の方が来て、当社乗務員は救急車にて搬送された。	55	911	90	30 ~ 49
2017	12	7~8	会社車庫内にて転倒し、負傷したものである。	52	419	2	100 ~ 299
2017	12	6~7	乗務するタクシーを洗車する際、地面が凍結していて足を滑らせ転倒した。	71	417	2	100 ~ 299
2017	12	15~16	タクシー乗務中、乗客を乗せ、赤信号にて停止していた際、後続の車両に追突され、車内にて負傷したものである。	49	231	17	100 ~ 299
2017	12	3~4	帰社時、社内駐車場歩行中、路面が凍っていたため転倒した。その際、体の保護のため右手をつき骨折に至った。	59	417	2	100 ~ 299
2017	12	14~15	荷物を運ぶ途中に、浄化槽のマンホールの蓋を踏んだときに、蓋がずれて浄化槽に落ち、右足の太ももを骨折した。	60	418	1	30 ~ 49
2017	12	9~10	クリニックへお客様をお送りする際、駐車場へ入るため減速したところ、後方車両に追突された。	46	231	17	100 ~ 299
2017	12	13~14	駅北口にて実車となり、小学校へ向かう途中、信号なしの交差点を通過するとき、左交差点道路より一旦停止不履行の一般車が、ノー	53	231	17	50 ~

			ブレーキで当社車両に衝突した。				99
2017	12	13~14	横断歩道手前で、歩行者が渡っていたので停止していたところ、後方から来た車両に追突された。	54	231	17	100 ~ 299
2017	12	0~1	信号待ちで停車中、後方からノーブレーキで相手車両に追突された。	66	231	17	100 ~ 299
2017	12	21~22	交差点にて信号待ちで停車中、加害車両にノーブレーキで追突された。	68	231	17	100 ~ 299
2017	12	16~17	タクシー乗務中に停車していたところ、後方路地から出てきた車両に接触されて負傷した。	61	231	17	100 ~ 299
2017	12	22~23	営業中、車内の下にあるレシート発行機に手を伸ばしたときに、コキッと音がして胸の下辺りが痛み出した。翌日に病院へ行ったところ、肋骨骨折と診断された。	56	921	19	100 ~ 299
2017	12	18~19	出庫前の車両点検・清掃時に、駐車場内にある側溝に誤って足を滑らし、左足を挟んだ。	66	419	7	100 ~ 299
2017	12	20~21	勤務中トイレに行った帰りに自動販売機で飲み物を買おうと、車に小銭を取りに行く途中で躓き転倒した。	70	417	2	30 ~ 49
2017	12	2~3	勤務終了後、更衣室内で転倒し、負傷した。	49	416	2	500 ~ 999
2017	12	23~24	前方の交差点信号が赤色に変わったため停止したところ、後方のバイクが自車に追突し、その衝撃で運転手（当人）が首を痛めた。	60	231	17	50 ~

									99
2017	12	20~21	お客様降車後出発前に停車していたところ、自車左後方を相手方車両にバックで接触され、その際に負傷した。	56	231	17	~	299	100
2017	12	20~21	停車中のタクシー車内で助手席の背もたれを倒そうとレバーを引いたとき、左手先から肩にかけて激痛がはしり、帰宅して湿布を貼ったがなかなか治らなかった。接骨院で治療したが良ならず、病院を受診しMRI検査をした結果、腱板断裂と診断された。	60	921	19	~	299	100
2017	12	8~9	交差点を通過するとき、対向車線よりトラックが右折しようとしてきたので、それを避けるためハンドルを左に切ってかわしたところ、止まりきれずにそのまま信号機に激突した。救急車で病院に運ばれ、肋骨が1本折れていると診断された。なお、乗客および他の負傷者はおらず、右折しようとしていたトラックとの接触も無かった（ナンバー不明）。	64	231	17	~	29	10
2017	12	1~2	お客様を乗せて走行中、赤信号で停車したとき、後方より走行して来た乗用車に追突され負傷した。	59	231	17	~	299	100
2017	12	15~16	タクシー乗務中、現場の交差点（当方黄色点滅）を通過中、相手車（赤色点滅側）が停止せず進入してきて、当方側面に衝突したはずみで全身を打った。	62	231	17	~	49	30
2017	12	19~20	お客様の荷物をトラックに積み込むとき、荷物がかかり重かったため横にし、前屈みの状態から持ち上げたところ、腰を痛めて就業できない状態となった。	53	611	19	~	49	30
2017	12	19~20	駅近くにある車庫前の民家付近で、子供がいたので注意をし、車庫へ戻ろうとしたところ道路で転倒し、骨折した。	65	417	2	~	299	100
			交差点を右折するため、中央車線を進行していた。交差点に近づい						100



2017	12	17~18	たとき、信号機が赤色になったため、前の車両に続いて停車した。 その直後、後方の車両が突然追突してきたため、全身に強い衝撃を受け、肩から腰を強打した。	67	231	17	~ 299
2017	12	0~1	客宅で車庫入れの誘導中、タイヤ止めのブロックがあることに気づいてはいたが、暗いこともあり配置までは分からず、ブロックに躓いて、壁にぶつかり転倒した。	63	416	3	~ 29
2017	12	9~10	交差点において、右折のため停車していたところ、相手車に追突された。	76	231	17	~ 49
2017	12	21~22	空港タクシープールにて停車中、後続車に追突され、腰を打った。	55	231	17	~ 49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_06.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html)